

令和7年度 総合型選抜

試験問題

9時00分 ——— 11時00分

地域デザイン科学部志願者（建築都市デザイン学科）

造 形 実 技

〔注意〕

1. 開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚ある。「受験番号」は、すべての解答用紙および下書き用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この冊子には問題が2つある。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の位置に記入すること。第1問は解答用紙（その1）に、第2問は解答用紙（その2）に解答すること。
5. 鉛筆および消しゴムは貸与のものを使用すること。
6. 貸与された鉛筆および消しゴムは持ち帰らないこと。

第 1 問

図 1 に示す 1 辺 3 m の立方体の一部を切り取って作られた、図 2 (1) ~ (6) で示される立体 X について次の問に答えなさい。手元にある紙を、切ったり折ったりして立体を作らないこと。

問 1

図 2 の ABCD は、図 1 における ABCD 面の位置を示している。図 1 の立方体から図 2 の立体 X を切り取った残りの立体 Y を、解答用紙の EFGH の位置を基準に図 2 (1) ~ (6) にならって 6 面から描きなさい。解答用紙の点線は 1 マスが 1 m とする。

問 2

図 3 に示すように、立体 X は ABCD 面が、立体 Y は EFGH 面が平坦な地面に接するように配置されている。以下の条件①~③に従って立体および地面に生じる影の様子を、上から見た図として描きなさい。解答用紙の点線は 1 マスが 1 m とする。

条 件

- ① 定規、コンパスは用いず、黒鉛筆で描くこと。
- ② 解答用紙に立体 X, Y の輪郭を図 2 (1) にならって描くこと。
- ③ 太陽光は、北東方向から地面と 45 度をなす角度で一様に当たっているものとする。

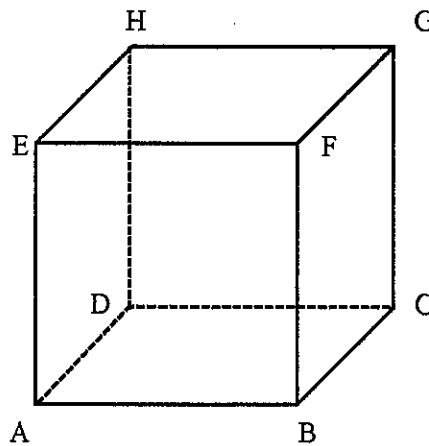
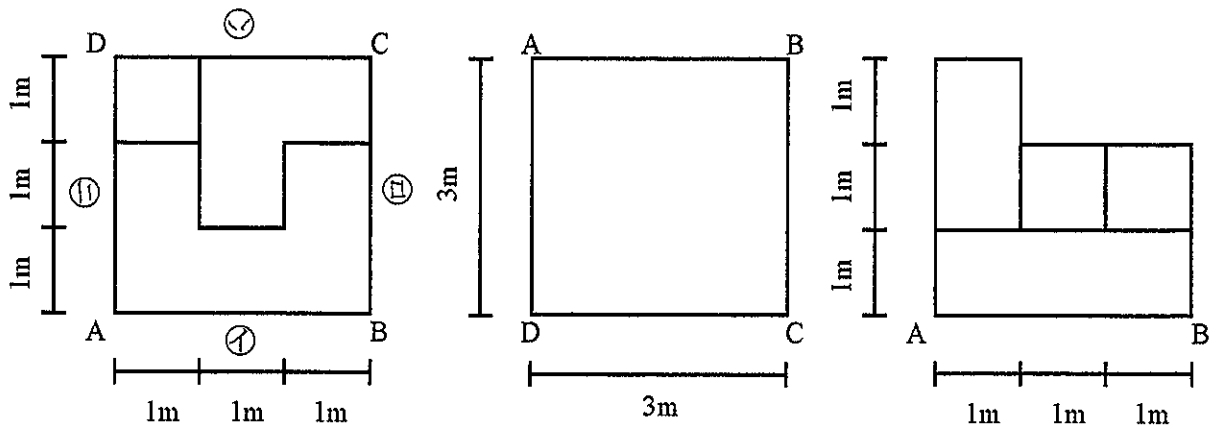


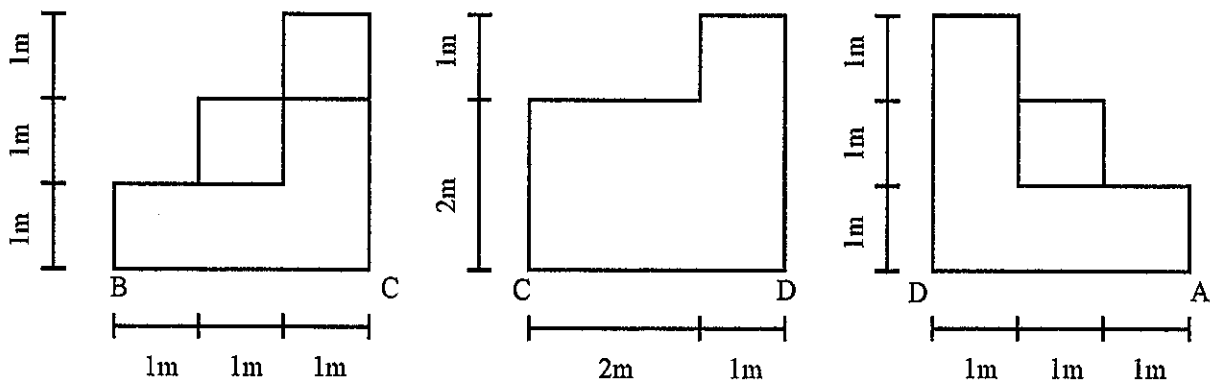
図 1



(1) 上から見た図

(2) 下から見た図

(3) ①から見た図



(4) ②から見た図

(5) ③から見た図

(6) ④から見た図

図2

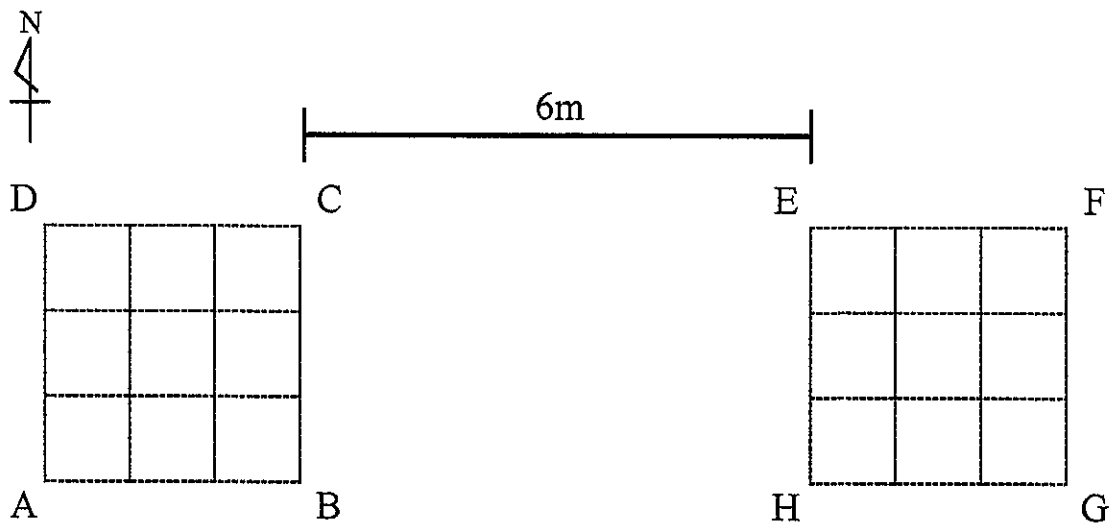


図3

第2問

我が国の津波が想定される沿岸部では、高台や浸水域外への避難場所までの避難に時間を要する地域において、緊急的に一時避難する場所の設置が推進されている。津波による浸水高さが10mと想定される海岸に近い平坦な住宅地において、一時避難する場所を構想し、以下の条件に従って回答紙の枠内に立体的に大きく描きなさい。また、構想の意図、避難者へ配慮したことについて、指定されたマス目内に述べなさい。

条 件

- ① 一時避難する場所は、50人が緊急的に避難できるものとする。
- ② 津波による浸水高さに対して、十分に安全性が確保できるものとする。
- ③ 津波の衝撃に耐えうる構造を有するものとする。
- ④ 安全にかつ迅速に避難できる階段やスロープを有するものとする。
- ⑤ 周辺状況を記載する必要はないが、海岸の方向を示すこと。
- ⑥ 成人、高齢者、子ども、車椅子利用者を、それぞれ1名以上描くこと。
- ⑦ 一時避難する場所の大きさや高さがわかるおおまかな寸法を記載すること。
- ⑧ 定規、コンパスの類は用いず、黒鉛筆で描くこと。